

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

4月号(NO55)通巻 205号

2023年4月10日(月)発行(毎月10日)

【農暦】菜園はこれからが一番良い時である！

○桜が咲いた。華やかな気分にしてくれる。桜に嫉妬するかのように、雨が、風が、花を散らしてしまう。もう葉桜になっている。葉桜も好きである。5日は清明であった。すべてのものが清らかに生き生きとする頃のこととあるが、萎れた心が癒せそうな芽吹きが勢いがあちこちにある。山肌が新緑に萌えている。良い季節である。外に出たくなる。



<桜、散歩道で>27日撮影

○9日の新聞に“自治会活動、曲がり角”の大見出しが、自治会の加入率が71.7%だと云う。共働きが当たり前の今、それに高齢化である。一時、限界集落が話題になったが、生活の場が危うくなっている。テレビで“ポツンと一軒家”をやっているが他人事ではない。新築家屋の建設が続く中、近未来に、空き家だらけの我が街が容易に想像される。コンパクトな自然と調和したまちづくりが問われていると思う。

○4月から、地元の輪番の班長が廻って来た。回覧板を廻すだけと云うが本当にそれだけでいいのかと思ひなら考えてしまう。高齢者の1人暮らし、買い物難民、生活動線の確保、耕作放棄地、考えれば考える程心配事ばかりである。民生委員の方から安否確認だという電話を頂いた。大変な社会が進展しているのだと思う。温暖化も待ったなし、農業自給率は37%である。農的生活を求めて笠間に来たのだが難しい課題ばかりが気になる。

○花が、木々が、そして菜園の充実こそが今更ながら大事なことだと思ふ。この不安の癒しになるのだけのものではないと思ひながら、農業にはなっていない“耕起し、野菜を育てる”を出来る限りしたい。また意味あるものにしたと思う。



<利休梅、菜園で>7日撮影

○じゃが芋が揃って芽葉を広げ始めている。草の勢いを感じる。ニラが生育している。雨降り毎に勢いをましていく。移植していた苺が花を付けている。今年はヤーコンを植えたいと思っている。食用菊の植え換えが出来ていない。早々にやりたい。いよいよ夏野菜の植え時になる。菜園はこれからが一番良い時である。(了)

【楽農】<畑>じゃが芋植え(22日)篠だけ刈りと処分。鶏糞・石灰の散布、耕起など。ネギ苗の植込み。解体ハウスにあった農業資材廃棄。

【楽市】イベント等；詩吟例会(16・30日)飲み会(26日)共生の会・川柳の会(6日)

【つぶやき=Tweet】 若者が自分の国の将来について、良くなるは、日本 13.9% !

○こども家庭庁が1日に設立された。「異次元」を連発する総理だが、子育て環境試案では現状を微増したものである。保育の質向上では保育士の配置基準などは不変に等しい。社会を下支えしているエッセンシャルワーカーの待遇改善には冷たいものがある。外国人労働者への依存度が増えて、格差社会が更に進むのではと危惧する。名称に家庭が追加された。家庭の在り方まで国が管理しようとしている？。主権在民を忘れた政治を感じる。

○2日の日曜討論で“若手論客が考える、これからの社会”は傾聴に値する発言が多く、これからが期待されるものがあった。自分の国に将来についての問いに若者が良くなると答えた人は中国 95.7%、米国 36.1%、日本 13.9%だという。GDP 経済成長率も、給与アップも無しで、あるのは賃金格差（中間層の年収 300 万円減）などを考えるとやはりと思う。若手論客の考えが政策に反映できるならと、政治の劣悪さを恨みたくもなる。



<国の将来、2日 NHK テレビ>

○フランスでは年金支給開始を2年延期の政府提案（30年までに64歳に）に多くのデモやストライキで撤回を求めている。日本の国民はおとなし過ぎる。ひきこもりが146万人（内閣府調査31日）いると云う。これ程生きづらい社会になっている。米国やNATOに呼応し軍事大国にする前にやることあるだろうと思ってしまう。

○世界的に活躍された坂本龍一さんが28日に亡くなられた。平和や脱原発、環境保護や復興支援など社会的な分野で積極的に行動し、自身の意見を社会に発信している。俳優の吉永小百合さんと平和を願うチャリティコンサートを各地で開催したり、集団的自衛権の行使を可能にすることなどを盛り込んだ安全保障関連法案に反対していた。3月初旬に、小池都知事や永岡文科相などに手紙を送り、“目の前の経済的利益のために貴重な神宮の樹々を犠牲にすべきではない”と訴えていたと云う。



<菜の花、散歩道>27日撮影

○計画をめぐっては、樹木の大量伐採や名所のイチョウ並木への影響のほか、神宮球場や秩父宮ラグビー場の建て替えにも異論が出ており、ラグビー元日本代表の平尾剛さんが反対署名を立ち上げるなど、スポーツ関係者にも反対する動きが出ているという。五輪汚職の反省がないまま、温暖化対策が叫ばれる今、まだ樹木の大量伐採を進める人がいる？。世の中がおかしな方向に進んでいる時に、71歳、まだこれからの大事な人が逝ってしまった。

○映画も音楽もスポーツもいい、相撲も好きだ。野球WBCは素晴らしいドラマであった。

9日は統一地方選挙だった。一番大事な政治が悪過ぎる。音楽やスポーツには救いがある（了）

○断捨離考：菜園資材を廃棄だけか。根気よくか

【後記】 若者が将来に希望を！

やはり反戦平和だと思う。【HP転載】

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com